

ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.114

2020

8.1



利用再開したさくらんぼタクトクルセンターにて



東根市議会

検索



新型コロナウイルス感染症対策

東根市議会の対応

3月31日に県内初の感染者が確認されてから、県内でも各種活動の自粛要請がなされ、本県を対象とした緊急事態宣言が5月14日に解除されるまでの間、市民の皆さまは大変不安な日々を過ごされたことと思います。6月19日からは国内における移動制限は無くなりましたが、首都圏においては感染者が増加しており、本県においても2か月ぶりに新たな感染者が確認されるなど、まだまだ予断を許しません。

本市においても、学校の臨時休校や公共施設の利用制限など、皆さまには大変ご不便をおかけしましたが、一人一人の感染拡大防止の取り組みにより、これまで市内に感染者が出ておりません。

市議会としましては、市執行部と協力しながら、様々な対策を講じて参りました。引き続き、更なる感染拡大に備え、万全を期すことができるよう議員一丸となって、皆さまとともに感染対策に取り組んでまいります。

議会費の一部の活用について申し入れました

5月22日に全会一致で、本市の新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源として、令和2年度の議会費の一部、総額675.7万円の活用について、市長に申し入れました。

- 政務活動費全額 270万円返納
- 各委員会行政視察旅費全額 405.7万円執行停止

市民の皆さまの声を市政に届けました

新型コロナウイルスにより影響を受けている皆さまの「生の声」を集約し、定期的に市執行部に届けています。緊急事態宣言の対象が本県を含んだ全都道府県に拡大された時には、速やかに市長に対し、感染拡大阻止や経済損失への対応策、教育面における不安の払しょくなどを盛り込んだ「緊急提言書」を提出しました。

臨時会で予算等を速やかに可決しました

新型コロナウイルス感染症対策として実施する生活支援や経済対策に必要な予算等について、速やかに執行することができるよう、臨時会において審議・可決しました。

- 5月 1日 第1回臨時会
 - 5月 25日 第2回臨時会
- 【主な内容】**
- ・ 特別定額給付金事業
 - ・ 緊急経済対策「ガンバレひがしね応援事業」
第1弾～第3弾

感染拡大防止策を徹底しています

議会の各種会議や議員活動において、マスクの着用や三密対策を徹底し、感染拡大防止に努めています。

東根市のこんなことが決まりました

●会期 6月9日～6月22日まで

項目	件数	概要
条例	4	<ul style="list-style-type: none"> ・市税条例の一部を改正する条例 ・固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 ・手数料条例の一部を改正する条例 ・介護保険条例の一部を改正する条例
議決事件	3	<ul style="list-style-type: none"> ・財産の取得（2件） ・市道路線の認定
予算	2	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算（第3号） ・一般会計補正予算（第4号） ← ピックアップ!

※詳細は、ホームページで確認できます。

ピックアップ!



緊急経済対策「ガンバレひがしね応援事業」 第4弾 本市独自事業を盛り込んだ3億8,725万1千円

議第50号 令和2年度東根市一般会計補正予算（第4号）

今回は、定例会最終日に追加提案され可決した補正予算の中から、主に8つの事業について取り上げます。

ひとり親世帯 臨時特別給付金給付事業 予算額：3,891万7千円



新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て負担の増加や収入の減少が生じているひとり親世帯を支援するために給付する。対象は、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯などで、1世帯あたり5万円（第2子以降1人につき3万円）を給付する。

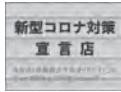
佐藤錦生産環境整備事業 予算額：698万円



佐藤錦を生産する農家に、受粉を促進するための葎（よし）・マメコバチの繭（まゆ）などを購入する際の支援制度で、これまでの負担率を拡充し、市負担率を4/10から5/10に引き上げる。

宅配サービス等実施支援事業

予算額：36万9千円



県が作成した、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組む飲食店を応援するための木製プレートを市内の希望する飲食店に配布する事業。また、市独自に飲食店を応援するポスターを作成する。

事業継続支援事業

予算額：550万円

観光物産協会加盟の「観光さくらんぼ園」26事業所に今後の事業継続に向けた支援金として一律20万円を交付する。また、次年度の観光さくらんぼ園事業の対策費として観光物産協会果樹園部会に30万円の事業助成を行う。

畜産振興事業

予算額：296万5千円



現行の※肉用牛肥育経営安定交付金に1割を負担して上乗せする。また、全小中学校に東根産牛肉を使用した給食を実施する。

※標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、その差額9割を生産者へ交付するもの。交付金のうち1/4は生産者の積立金が原資となっている。

学生等応援給付金事業

予算額：3,000万円

学生生活を支援するため、本市出身の学生などに給付金を支給する。

○給付金額：1人あたり2万円

○申請期間：7月1日～10月31日

○申請方法：市HPの申請用紙をダウンロードし、必要書類を添えて、学生本人が申請（原則郵送のみ）

さくらんぼ東根商品券購入助成事業

予算額：2億7,000万円



市民や市内在勤者に対して、1冊15,000円の商品券を10,000円で販売。プレミアム率は50%で、50,000冊を発行する。このうち10,000円分は取扱店全店で使える共通券、残りの5,000円分は市内中小の小売店で使用出来る。商品券の発売は9月15日。使用期間は12月31日までとなる。発行総額は7億5千万円となり、年末にかけて市内の経済活性化に大きく寄与するものとなる。また販売方法は、三密対策をしっかりと施し対処する。

さくらんぼ生産農家等支援事業

予算額：3,120万円

主な予算内訳

事業内訳/予算額	概要
加温さくらんぼ生産継続支援金 1,020万円	加温さくらんぼの次期作の生産向上を図るための取り組みを奨励
農作業安全対策・作業効率向上支援事業補助金 1,400万円	農作業の安全対策と作業効率の向上を図るために農業用機械を購入する場合に補助
チャレンジ・ネット販売支援事業補助金 500万円	新たに、インターネットを活用した農畜産物の販売促進に取り組むための機器類を購入及び、講習会への参加に対する補助

新型コロナウイルスの感染拡大により、影響を受けたさくらんぼ生産農家等を支援する事業であるが、十分な周知と広報を要望した。

● 新型コロナ後の「新たな日常」 新たな生活様式について



浅野目幸一 議員



▲避難所での感染対策開設訓練 6月23日実施、市民体育館

新型コロナウイルスに対する
市民の理解と、対応は

議員 「新たな日常」を取り戻す新しい生活様式を市民はどのように理解すればよいか、本市はどのように浸透させるのか。
市長 手洗いの励行、マスク着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染予防対策が普段からの生活様式として浸透し定着することが必要。

公共施設の使用制限の現状と、
感染拡大の防止策は

議員 感染拡大の防止策と、感染予防のための公共施設の利用制限についての考え方は。
市長 国内、県内の感染拡大の状況と利用形態など施設ごとの特徴に応じて、きめ細やかな制限をしてきた。

速やかで、適切な

情報の伝達は

議員 今般のコロナ禍も含め、災害時の情報弱者(情報があまく伝わらない高齢者世帯等)に、どのように情報を伝えるか。
市長 災害時要支援者台帳の充実を図り自主防災組織や消防団、民生委員、福祉推進員など地域の皆様と連携しながら適切な情報伝達の仕組みを整える。

地区が直面する自主防災会の
課題と複合災害の対策は

議員 感染症対策を考慮した防災訓練と避難所の運

営について伺う。

市長 避難所運営訓練の実施や、各自自主防災組織ともこの情報を共有するとともに運営にあたって十分配慮し、新型コロナウイルス感染症を想定した訓練を取り入れることを検討する。

避難所では熱中症対策も

必要、暑さ指数とは

総務部長 気温だけでは評価しにくい注意喚起などで使用する指標で、すでに活用している。

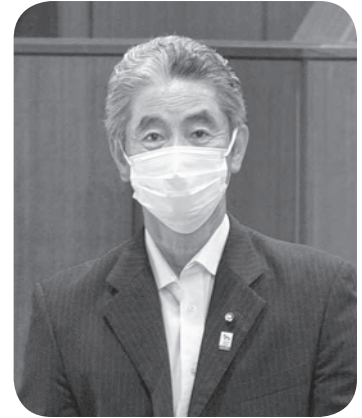
もらわない うつさない 咳エチケット

密集 密閉 密接 こまめな換気

正しい知識を身につけて、ウイルスと戦いましょう!

●詰め込み教育は 子どもへの負担になる!!

●突然の休校 学童保育所の混乱は？



植松 宏 議員



新型コロナウイルスと学校運営

議員 一斉休業により生じた2ヶ月の学習の遅れを、短期間で取り戻そうとしている。授業時間を削減することも考えるべきでは？

教育長 単に休業した時間を新たに確保するのではなく、「学習指導要領」の内容を確実に指導する。

議員 児童生徒は、開校前からストレスを抱えている。さらに負担を強いることは、いじめ、不登校の増加につながるのか。

教育次長 スクールカウンセラーや相談員と、連携を図りながら、心身の状況を把握し丁寧に指導する。

議員 学校で、新型コロナウイルス対策の「対応マニュアル」を作成する必要はないか。また、一時待機・隔離する施設確保は大丈夫か。

教育次長 文科省の「衛生管理マニュアル」等に対応。感染が疑われる児童生徒が出た場合は、保健室と空教室を活用し、接触を避ける。

新型コロナウイルスと学童保育

議員 全国では突然の一律休校に伴い、学童保育の支援員の確保、受け入れ態勢を作るのに苦慮したと聞いたが、本市の学童保育現場に混乱は生じなかったか。また、この間、保護者の新たな負担は無かったか。

市長 感染防止のため、真に保育を必要とする児童のみの受け入れに協力を求め、登録児童数の4割程度の利用となった。また、小



学校、教育委員会と連携を図り、混乱を最小限に抑えることができた。この間の保育料も、負担は変わらず、逆に利用を自粛した家庭には返金措置を講じている。

議員 学童保育所はコロナ騒動以前から人手不足状態が続いている。支援員の不足はどこに問題があると考えるか。

健康福祉部長 ①勤務時間帯が合わない。②責任、専門性が問われる職種③学童保育の利用者増等。今後とも支援を継続していく。

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

●始まったオンライン学習 教育現場の現状と取り組みは ●ウィズコロナ時代の農業支援



滝口 公一 議員

オンライン学習と教育現場の
現状・今後の取り組みは

議員 市内の小中学校でオンライン学習が始まったが導入の経緯について伺う。
教育長 神町中学校が先行して導入し、学習効果が大きいに期待できたことから小中学校全校へ展開した。神町中学校の取り組み等の情報をもとに各学校で共有しながら活用が始まっている。
議員 今後考えられる課題は？
教育次長 全ての家庭においてインターネット接続の環境が整っていないことや、使用できる端末が無い事が挙げられるが、国の補正予算により解決する見込みであり、これにより各家庭での学習環境の格差はなくなると考える。

議員 今年度の学習指導要領達成の見通しは？

教育次長 児童生徒の心身への影響や教職員の負担に配慮して、週当たりの授業数を増やす・長期休業期間の短縮・行事の厳選などを

行うことで学習内容を達成できると捉えている。



ウィズコロナ時代の
農業被害への備えは

議員 コロナウイルスとの共生は避けて通れないが、今後の農政について市長の見解は？
市長 感染予防の取り組みを継続していくことが重要でこれにより集団発生を抑え安全安心な果樹王国ひがしねの農産品を消費者にお届けできると考えている。また独自の農業支援も考えていかなければいけない。まもなく露地物さくらんぼが最盛期を迎えるが、コロナ騒ぎの中で生産量を例年並みにさばけるのか、また



価格の低迷も懸念される。対策として生産量については出来るだけふるさと納税に回す、価格低迷については県とJA、主要産地の自治体で差額を補填する価格安定対策を検討している。
議員 異常気象がもたらす影響が近年顕在化しているが、りんご黒星病などへの取り組みは？
経済部長 今年2月に行つた黒星病対策のフォーラムは今年度も開催予定。今後の発生状況を見極めながら県やJAと情報を共有し対応していく。

●新型コロナウイルス感染症への「対策方針」と新たな社会を見据えた「市政方針」を問う



齋藤俊一郎 議員

〈経済対策と防疫〉の両立と情報発信の強化

議員 山形県「新・生活様式宣言」をもとに、〈新たな社会〉の構築に向けた、今後の市政方針を伺う。

市長 医学的知見に裏打ちされた、市民にとってわかりやすい生活や行動の指針が必要。国や県はその具
体策を提示し、市はさまざま
な場面で周知、市民や事
業者が実践を図るとい
うな役割分担のもと、感
リスクと共存しながら、消
費行動を徐々に拡大してい
くことが防疫と経済の両立
を図る第一歩と考えている。
議員 市HPポータルサ
イトの改善とLINEサー
ビスの活用など前例にとら
われない手法が求められて
いると思う。対策は。
市長 緊急時における既
存のSNSによる情報発信
を強化するとともに、議員
より提案のあった新たなS
NSの運用についても研究
していきたい。

コロナを契機
ひがしね農政の展開

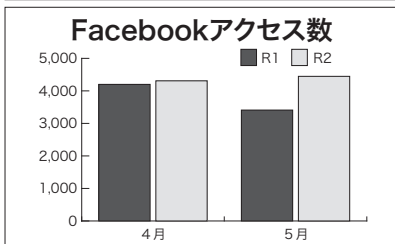
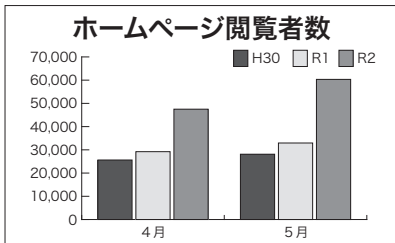
議員 コロナ後の農業を見据え、生産継続と販売力の推進をどう支援するのか。本市農業の実情に合わせた新たな支援策が求められている。今後の方針を伺う。

市長 国・県が計画する施策を把握しながら、農家が前向きに生産継続に取組み、また販売手法を模索できるような、本市農業に合った支援を実施していきたい。
議員 行政が農協と連携をし、次期作支援交付金や国産農林水産物等販売促進緊急対策など新たな施策の活用を通じ、コロナ社会に

合わせた「生産支援」「出口戦略」の立案を要望する。

議員 学校の感染症対策と支援体制を求める
議員 感染防止対策と学
びの支援体制を伺う。

教育長 検温・消毒・換気・密への工夫など徹底した対策を行っている。小学6年生に教員OBを2週間集中的に派遣する「授業サポート」を検討している。
議員 第二波三波や冬期インフルエンザとの重なりを見据えた万全の感染防止対策と児童生徒一人一人にあわせた学びの遅れ解消支援を要望する。



閲覧数等比較

ホームページ		4月	5月
閲覧者数	H30	25,625	28,114
	R1	29,214	32,943
	R2	47,502	60,330

Facebook		4月	5月
アクセス数	R1	4,200	3,410
	R2	4,309	4,447

なおFacebookのアクセス数（オーガニックリーチ）は推定値です

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

まちづくりの最上位計画まもなく終了 ●第5次東根市総合計画の策定は？

災害時の万全な備え ●避難場所・避難所の整備を！



山科 幸子 議員

東根市総合計画について

議員 最上位のまちづくりの指針である総合計画は、今年度が最終年度である。新型コロナウイルス感染症拡大は、暮らしや経済に大きな影響を及ぼしているが、第5次総合計画（2021～30年）の策定状況はどうか。

市長 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市民が参加する会議を見合わせている。全庁挙げて感染防止や対策に当たっており、計画策定の議論や調整が十分な状況だ。収束状況を見極め、できるだけ早い時期に策定したい。

議員 今年度中に策定を終えるのか。
総務部長 当初策定予定の12月は難しい。今年度中には完了したい。

しあわせつくる学びと交流のまち



▲第4次東根市総合計画

議員 コロナ禍の影響は計り知れない。国では2019年度決算が歳入欠陥の恐れありと報道された。本市でもあらゆる分野で、長期にわたる影響が心配だ。総合計画や関連する計画等の策定や見直しはどうか。

市長 第5次総合計画では、コロナ禍による市民の行動の変化やwithコロナの時代を見据えた施策の検討が必要だ。関連計画も同様な視点で策定見直しを想定している。税收減や度重なる財政出動で歳入歳出は不確実性が高く、毎年度見直す振興実施計画をしっかり策定したい。

① 命の安全を確保する避難所 市指定の状況

議員 全国では毎日地震が発生し、豪雨災害も頻発している。市民の命を守る緊急避難先の指定状況は。

市長 危険が去るまで緊急的に避難する指定緊急避難所が53か所、保護滞在する指定避難所23施設である。

② 周知看板の整備を

議員 避難場所と避難所の違いや災害によってどこをめざすのか、いざという時速やかに行動できるように標示看板は市内統一して設置すべきだ。



▲避難所・避難場所が一目でわかる看板（天童市）

③ 良好な生活環境の確保

議員 避難所の環境は法律で規定されている。女性や障害等への配慮とともに感染症等の対策は。

市長 備蓄品や備品は、アレルギー等に対応してきめ細かな整備をする。避難所運営では感染症予防対策に配慮し準備を進めている。

※歳入欠陥：税・税外収入、国債発行を合わせた歳入が歳出を下回ること

●東根市における

指定管理者制度について

市内指定管理の現状について

本市の運営への貢献度などの見解

更新・継続時の評価について



高橋 弓嗣 議員

市内指定管理の現状について

議員 平成18年から指定管理者制度を導入しているがその現状を伺う。

市長 施設ごとに見極めながら指定管理者制度を導入し、現在は21施設の管理運営を指定管理者が行っている。

運営に対する貢献度などの見解

議員 指定管理者制度のメリットは、民間事業者等が自由な発想でノウハウを活用できる点だが、本市への貢献度などの見解を伺う。

市長 地域の実情を踏まえた市民目線での施設管理運営が行われている。住民サービスが向上し、本市の魅力発信にも寄与していると評価している。

更新・継続時の評価について

議員 指定管理者の更新・継続を行う場合に評価をどのようにしているか？



市長 これまでの取り組みの成果や意欲、創意工夫、責任感などの聞き取りにより見極めていく。その上で基準を満たしているか評価し選考をしている。

議員 今後更なる指定管理の予定などはあるか？

総務部長 現在はないが、道の駅については、指定管理者制度による管理運営を想定し、検討を進める。

議員 コロナウイルス関連で、運営に支障を来すことは無かったか？

総務部長 随時相談に応じ、状況に応じたサポートを行っている。さらに魅力のある管理運営への支援を行う。



議員 昨年、指定管理者として施設運営を始めた東の杜の利用状況などを伺う。

教育次長 昨年4月開館から1年間で33,722人が来場。指定管理者の働きやき未来共同事業体が適切に管理を行い、様々な自主事業を展開している。

議員 東の杜周辺の文化財や商店街との回遊性や地域活性化などの考え方は？

経済部長 新たな魅力を生かせるよう、地元商店街などと情報交換を深めて行く。

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

●アフターコロナ、ウィズコロナ 次の時代に向けて

- ◎定額給付金を最後の一人まで！
- ◎民間ホテル、旅館を避難所に！
- ◎東根市出身学生への支援を！
- ◎経済活動再開と第2波、第3波への
体制充実の両立を！



河村 豊 議員

議員 定額給付金の未申請者への対応は。

市長 各地域公民館でサポートするとともに、民生委員・児童委員等に対し、未申請の方や申請で困っている方への声がけ等、支援をお願いしてきた。一人でも多くの方にお届けすることができるよう努める。

さくらんぼ東根温泉活性化の重要性とまちづくり

議員 さくらんぼ東根温泉の活性化は、東根市全体の街づくりに大きく影響する問題。東根市全体の経済活動をリードする勢いをつけないといけない。

市長 滞在型観光の拠点、本市観光産業の基幹産業で、交流人口の拡大により、地域活性化を進める上で欠かすことができない。今後とも振興に努める。

議員 避難所の過密を抑制するための分散避難等、体育館や公民館等を集めるのではなく、合計258室1千174名の宿泊キャパ

を持つ東根温泉活用の準備を整えておく必要があるのではないかと。

総務部長 福祉避難所としての活用に限定しているが、必要性を判断していく。

**学生の未来を奪わない
よゆうな支援体制を**

議員 経済的に困窮している東根市出身の学生に対して支援を行うべきだ。

総務部長 市独自支援の必要性を考慮しており、準備を進めている。

議員 感染防止と経済活動の両立、万全な医療提供

体制、検査体制の充実、医師会との連携、北村山公立病院の位置づけ、山形大学医学部との連携は。

市長 ウィズコロナの観点から、感染防止と経済回復の両立を目指さなければならぬ。PCR検査の絶対数の充実が必要。

今後、インバウンド観光客等も日本に來ると、第2波、第3波が懸念される。

北村山医師会、北村山公立病院と強力にタイアップし、コロナ下における責務を果たしていくことを改めて決意している。

「新しい生活様式」の実践例

基本的な対策

- 人との間隔は、できるだけ2m空ける
- マスクを着ける。熱中症には十分注意する
- 帰宅したら、まず手や顔を洗い、すぐに着替える

移動
感染流行地域への出入りを控える。接触確認アプリを活用

部屋
小まめに換気し、密集、密接、密閉の「3密」を避ける

健康チェック
毎朝、体温を測り、発熱や風邪症状があれば自宅で療養

買い物
すいている時間に、素早く計画的に。通販や電子決済も活用

公園や公共交通機関
すいている時間を選び、会話は控えめに

食事
大皿を避けて個別に料理を取り、グラスやおちょこの回し飲みは避ける。おしゃべりを控えめに料理に集中

働き方
テレワークやローテーション勤務、時差通勤を活用。会議はオンラインで

イベントなどへの参加
接触確認アプリを活用。発熱、風邪症状があったら参加しない

※厚生労働省の資料を基に作成

政務活動費 平成31年度(令和元年度) 収支報告の概要

- ☆政務活動費とは…①議員が行う調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用
 (東根市の場合) ②議員1人あたり年150,000円(月12,500円)を限度に支給
 ③議員個人ではなく会派に支給(会派に属さない議員は無会派として支給)
 ④収支報告書を作成・提出し、残額が生じた場合はすべて市に返還
 ⑤収支報告書に領収書などの添付を義務付け

議会ホームページで領収書も含めすべて公開中!

◆平成31年4月～令和元年7月(4か月分)◆ ※令和元年7月31日に議員の任期が満了したため、分けて報告します。

会派名等	所属議員(◎代表者)	対象議員数	交付額(円)	支出額(円)	主な用途	備考
ひがしね創生会	◎細矢 俊博・白井 健道 高橋 鉄夫・清野 忠利	4	200,000	54,880	・議員NAVI使用料 ・ペーパーレス会議システム通信料	
鴻志会	◎浅野目幸一・佐藤 直	2	100,000	14,480	・ペーパーレス会議システム通信料	
政清・公明	◎阿部 綾子・原田 利光 高橋 光男・河村 豊 秋葉 征士	5	250,000	250,000	・日本自治創造学会研究大会 参加費ほか	公費によらない 会派独自の支出 有
東輝会	◎片桐 勝寿・山科 幸子 清野 貞昭	3	150,000	21,720	・ペーパーレス会議システム通信料	
無会派	今野 孝	1	50,000	47,480	・第36回議員の学校 参加	
//	高橋ひろみ	1	50,000	7,240	・ペーパーレス会議システム通信料	副議長
//	加藤 信明	1	50,000	7,240	・ペーパーレス会議システム通信料	議長

◆令和元年8月～令和2年3月(8か月分)◆

会派名等	所属議員(◎代表者)	対象議員数	交付額(円)	支出額(円)	主な用途	備考
ひがしね創生会	◎白井 健道・清野 忠利 高橋 鉄夫	3	312,500	291,165	・商業界東北・北海道地方ゼミナール山形大会 ・「地方交付税」から学ぶ地方財政講座	R元.8.5所属議員 変更(細矢俊博脱会)
政清・公明	◎河村 豊・原田 利光	2	212,500	88,946	・商業界東北・北海道地方ゼミナール山形大会	R元.8.5所属議員 変更(高橋光男脱会)
新会派 令和	◎東海林克彦・三宅 一人 元木十四男・滝口 公一 高橋 弓嗣	5	500,000	480,450	・商業界東北・北海道地方ゼミナール山形大会 ・「SDGs de 地方創生」ゲーム体験会in山形 ・地方議員研究セミナー	
ひがしね 市政クラブ	◎片桐 勝寿・齋藤俊一郎	2	200,000	163,498	・国(府省庁)関係機関との意見交換 ・空き家対策先進事例等視察費	
自民クラブ	◎浅野目幸一・佐藤 直	2	200,000	49,010	・SDGs先行事例視察(秋田県仙北市) ・「SDGs de 地方創生カードゲーム」体験会	
無会派	植松 宏	1	100,000	99,462	・地方議会研修所セミナー(仙台市) ・第49回市町村議会議員研修会in東京	
//	山科 幸子	1	100,000	19,522	・「現行自治六法」追録代 ・ペーパーレス会議システム通信料	
//	高橋 光男	1	87,500	46,010	・商業界東北・北海道地方ゼミナール山形大会	R元.8.5副議長就任
//	細矢 俊博	1	87,500	15,350	・ペーパーレス会議システム通信料	R元.8.5議長就任

※議長・副議長は無会派となります。

議員表彰

今年度、全国市議会議長会第96回定期総会において本市議会より1名が表彰され、2名に感謝状が贈られました。

特別表彰

◎議員在職20年以上 清野貞昭 前議員

感謝状

◎評議員 故・加藤信明 前議長
細矢俊博 議長

行政視察報告

議会のみらい検討委員会・議会運営委員会合同視察 令和2年2月6日～2月7日

議会基本条例について

栃木県栃木市

平成22年3月に1市3町で合併しましたが、旧栃木市議会において制定していた議会基本条例が失効したため、平成23年3月に再度、議会基本条例を制定し、これまで2回の検証を行っています。

条例制定の主なポイントは、議員間の自由討議を重んじること、開かれた議会として原則すべての会議を公開すること、年1回以上議会報告会を開催すること、市長等に反問権を付与すること、議員定数・議員報酬の改正は、市民を含む第三者機関による客観的な評価を参考にすること、議員の政治倫理を定めること、条例の目的の達成状況の検証をすることのことであります。いずれのポイントも、本市議会の条例制定に向けて、大変参考になりました。



栃木県那須塩原市

平成24年3月に議会基本条例を制定し、平成30年9月には、検証チェックシートによる自己評価、PDCAサイクルシートによる検証整理、第三者による外部評価の3段階で進めた、議会基本条例検証報告書を作成しています。また、その検証の結果明らかになった課題に対応するために議会取組実行計画を策定していました。

条例制定後も、検証し、課題対応の実行計画を策定するなど、市民の負託にこたえるべく、常に自らの活動を振り返り、改善していく姿勢を感じ、非常に有意義な研修となりました。



議会基本条例の制定に向け検討中！

現在、議会のみらい検討委員会では、東根市議会の活性化を図るべく、議会運営及び議員活動等に係る基本的な考え方を規定した「東根市議会基本条例」の制定に向けて検討しています。

市民の皆さまにも議論の様子を傍聴していただき、ご意見を頂戴したいと考えています。

議会広報委員会 令和2年2月4日～2月5日

議会の広報機能について

東京都多摩市

議会SNSページを開設し、幅広い世代に関心をもってもらうため、積極的に情報を発信しています。事務局で記事を作成・投稿していますが、より興味関心を集める内容とするため、将来的には議員ならではの視点を取り入れるなど、工夫をしていきたいとのことです。

平成29年に議会だよりをリニューアルし、市民の声を紙面にいかすためアンケートを実施したり、認知度アップのために表紙写真を公募するなど工夫をしています。今後の紙面づくりの参考となりました。



議会の広報・広聴機能について

東京都瑞穂町

瑞穂町議会だよりの特徴としてはフルページカラー・住民参加型コーナーの掲載・議員間の討議内容の掲載などが挙げられます。今後、住民参加型コーナーの応募を増やし、積極的に取材をしていきたいとのことです。

広聴活動として「みずほまちなか会議」を開催しています。直接住民からの声を聞き、執行部側の対応について調査し、必要な場合は意見書・提言書を提出しています。広聴機能の充実を考えるうえで、参考となる取り組みでした。





将来の夢

大富小学校 6年
佐藤 悠ゆう 月つきさん



私は、ピアノが大好きです。4才の時からピアノを習い始めて、これからも続けようと思っています。

私の将来の夢はピアノの先生になることです。なりたいと思ったきっかけは、ピアノを教えてくださいって先生がおこつたりしないでもやさしいからです。私も同じような先生になりたいと思いました。

高校を卒業したら大学に入ろうと思っています。たくさんお金がかかるけど、「いつてもいい。」と言われたいら、私は大学でピアノの勉強をしたいと思っています。

これからいろいろなことがあると思います。でも、応援されているので夢がかなうようにがんばります。

どんな曲もできるようななるまでがんばって、教えてください。やさしくて教えるのが上手なピアノの先生になりたいです。

令和2年第3回定例会 日程のお知らせ

9月1日から
9月17日まで
開催予定

傍聴を希望される場合は、新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒・マスクの着用にご協力をお願いいたします。

- 9月1日(火) 開会
本会議
決算特別委員会
予算特別委員会
- 9月3日(木) 本会議 (一般質問)
- 4日(金) 本会議 (一般質問)
- 8日(火) 本会議 (総括質疑)
決算特別委員会
予算特別委員会
各常任委員会

- 9日(水) 決算特別委員会各分科会
- 10日(木) 決算特別委員会各分科会
- 11日(金) 各常任委員会
- 17日(木) 決算特別委員会
予算特別委員会
本会議
閉会

※ 日程は、招集告示後の議会運営委員会を経て、定例会初日の本会議で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

令和2年第2回定例会では、延べ153名の皆様に議会を傍聴していただきました。

編集後記

全国各地で豪雨被害に遭われまして皆さまにお見舞いを申し上げ、一刻も早い復旧復興を祈るばかりです。1000年に一度と言われる大雨が頻発し、新型コロナウイルスとの闘いも加わり、社会が大きく変貌しようとしています。

市議会として、市民の皆さまの「安全・安心を守り抜く」覚悟をもって、第2回定例会や臨時会において、緊張感を持ち、審議を重ねました。1日も早く市民の皆さまに政策が届き、暮らしに繋がることを期待します。

経済誌では、山形一「住みよい街」(北海道・東北ブロックでは第2位)に選ばれた評価を「実感」に変えられるように議会として活動し、その動きを議会だよりとしてお伝えして参ります。引き続きご愛読をいただき、ご意見をお寄せください。

議会広報委員会
委員長 片桐 勝寿
副委員長 高橋 弓嗣
委員 三宅 一人
齋藤 俊一郎
山科 幸子
植松 宏
高橋 光男